

第**207**期
営業の中間で報告
ミニ・ディスクロージャー誌
平成28年4月1日から
平成28年9月30日まで

KIYO

- トピックス
- 個人のお客さまへ
- 法人のお客さまへ
- CSR活動
- 業績ハイライト



銀行をこえる銀行へ

紀陽銀行

ごあいさつ

皆さまには平素より紀陽銀行をはじめ紀陽フィナンシャルグループをお引き立ていただきまして、誠にありがとうございます。

このたび、すべてのステークホルダーの方々に当行に対するご理解を一層深めていただくため、「平成28年9月中旬期 ミニ・ディスクロージャー誌」を作成いたしました。業績や最近の当行の取り組み状況などをまとめておりますので、ご高覧いただければ幸いに存じます。

さて、昨今の国内経済につきましては、企業収益や設備投資の改善の動きに足踏みが見られる中、雇用・所得環境が改善するもとで、全体として緩やかな回復基調となりました。また、先行きについては、アジア新興国などの景気下振れによる国内の景気への下押しリスクが懸念されるものの、引き続き雇用・所得環境の改善傾向が続くもとで、緩やかながらも回復基調が持続することが期待されております。



取締役頭取 松岡 靖之

一方、わが国では人口や事業所の減少などの影響により地方経済は様々な問題を抱えている中、我々地域金融機関においては、企業の成長支援や生産性向上の促進など、地域経済活性化に向けた取り組みが重要視されております。

このような中、当行グループは、目指す銀行像「銀行をこえる銀行へ（お客さまの期待や地域の壁をこえ、銀行という枠をこえることを目指す）」の基本方針のもと、地域の皆さまが抱えておられる課題に対し、より高いレベルで迅速にお応えできる体制の強化に取り組んでおり、あらゆるテーマに基づき、皆さまをしっかりとサポートする活動を積極的に推進してまいります。

当行グループは、地域の皆さまとともに成長することが最大の使命であり、地域金融機関としての当行の存在意義をより一層向上させるべく、全役職員が一丸となって精一杯取り組んでまいりますので、今後とも引き続き変わらぬご支援、ご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

ミニ・ディスクロージャー誌 平成28年9月中旬期 営業のご報告

目 次

●ごあいさつ	1
●第4次中期経営計画	2
●トピックス	3
●個人のお客さまへ	5
●法人のお客さまへ	7
●地方創生に向けた取り組み	9
●新しい社会環境への対応に向けた取り組み	10
●CSR活動	11
●業績ハイライト	13
●財務諸表	15
●ネットワーク	17
●株式情報	18

※本冊子に記載している計数は、原則として
単位未満を切り捨てて表示しています。

平成28年12月

平成36年3月期までの長期的な展望のなかで、新たに目指す銀行像を「銀行をこえる銀行へ」と定め、その実現に向けて邁進してまいります。

紀陽銀行の
目指す銀行像

銀行をこえる銀行へ

お客さまの期待や地域の壁をこえ、銀行という枠をこえることを目指します。

第4次中期経営計画における主要テーマ

地元地域（和歌山・大阪）の特性に応じ、明確な地域別戦略のもとで成長速度を高める

「取引先数の増加」に
徹底的にこだわる営業推進

人材育成・登用の強化等による
「成長を支える活力ある組織」づくり

「対取引先」と「対地元地域」という
2本柱による「地域活性化への貢献」

主要戦略

1 持続的に地域を支えるための 経営効率向上

- ◎「預金4兆円」の早期達成
- ◎店舗チャネルと営業体制の抜本的見直し
- ◎計画的かつ積極的な新規店舗・チャネル投資 など

2 規模を利益につなげる営業推進強化

- ◎「リレバン型営業の徹底」による貸出先・貸出・収益の増強
- ◎預かり資産営業体制の強化 など

3 市場における 企業評価・ブランド力の向上

- ◎大阪府内でのプロモーション強化（営業戦略）
- ◎CS向上への取り組みの更なる強化 など

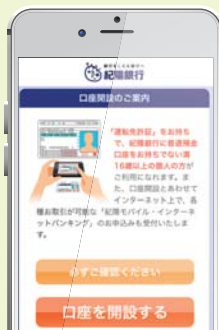
4 経営管理態勢の更なる強化

- ◎コンプライアンスの徹底
- ◎大規模災害を想定した対策の強化 など



「紀陽銀行 スマホ口座開設アプリ」の取扱い開始

4月28日より、スマートフォン専用「紀陽銀行 スマホ口座開設アプリ」の取扱いを開始いたしました。本アプリは、総合口座の開設と「紀陽モバイル・インターネットバンキング」のお申込みがスマホのアプリ操作のみで完了するサービスであり、お申込書のご記入やご来店によるお手続きが不要です。時代にフィットした新しいお取引窓口としてお客さまに利便性を提供します。



守口支店の新設オープン

5月16日に守口支店がオープンいたしました。守口市は大阪市に隣接した地域ですが、これまで当行は支店を構えておらず、今回開設した守口支店が市内第1号店となります。店舗内には住宅ローンセンターも併設しており、お客さまのローンに関するご相談にもお応えいたします。今後もお客さまとの最も大切な接点である店舗の充実に努めてまいります。



泉ヶ丘駅前支店の新設オープン

6月1日、泉ヶ丘駅前支店が大阪府南部におけるリテール営業の基幹拠点として新店舗にオープンいたしました。(泉北高速鉄道「泉ヶ丘駅」前の複合商業施設内)



当店舗には、情報雑誌等を取り揃えた本棚や大型テレビを設置したほか、キッズコーナーや授乳室もご用意しており、当支店以外のお客さまにもお気軽にお立ち寄りいただき、資産運用やローンについてじっくりとご相談いただけるユニークな店舗となっております。

「紀陽CSR私募債」の取扱い開始

6月24日より、地域の優良企業と共同で取り組むCSR活動として「紀陽CSR私募債」の取扱いを開始いたしました。「紀陽CSR私募債」は、当行が私募債^(※)を発行される地域の企業さまから受け取る手数料の一部(私募債発行額の0.20%相当額)を拠出し、地域の学校や医療・福祉施設、環境保全や文化財保護を行う団体などへ寄贈を行うものです。

取扱い開始より9月30日までに23件の私募債を受託しており、ご好評をいただいております。本商品を通じて、地域の企業さまとともに地域貢献に取り組んでまいります。

※私募債…財務内容が優れた企業が少数特定の投資家に発行する社債。

ATMのユニバーサルデザイン 画面の採用と機能の拡充

5月24日より、当行ATMご利用時の画面の視認性・操作性を向上させるため、ATM画面にユニバーサルデザイン^(※)を採用いたしました。この刷新とあわせ、カード振込限度額を1回300万円から1回1,000万円未満へ増額。さらにATM宝くじサービスの連続購入機能や通帳磁気復元画面の改善などの機能拡充を行いました。また、8月からはATM宝くじサービスのご利用を原則すべての当行ATM^(※)に拡大いたしました。

3月には店舗内ATMの荷物置台の設置を完了するなど、お客さまにより安心で快適にご利用いただけるATMコーナーづくりにも努めています。



※ユニバーサルデザイン…年齢・性別・障がいの有無に関係なく、あらゆる人が商品・サービス・住居・施設を快適に利用できるように配慮したデザイン。

※病院等に設置する一部のATMを除きます。



「紀陽空き家解体・活用ローン」の 取扱い開始

昨今社会問題となりつつある「空き家問題」を資金面よりサポートすべく、「紀陽空き家解体・活用ローン」の取扱いを8月8日より開始いたしました。本商品は、個人が所有する空き家の賃貸や民泊を目的とした改装、解体後の駐車場への整備費用などに対応可能な商品です。地方自治体発行の認定書等による金利引き下げも可能です。当行は、皆さまの多様なニーズにお応えする新しい商品の開発に努めてまいります。



「ビジネスレジリエンス 対策ローン」の 取扱い開始

9月16日より「ビジネスレジリエンス^(※)対策ローン」の取扱いを開始いたしました。「ビジネスレジリエンス対策ローン」は、防災施設等の建設や耐震化、事業継続にかかる資金をご用意のもので、特に「国土強靱化貢献団体認証(レジリエンス認証)」取得企業さま等については、融資利率や融資期間を弾力的に運用させていただく商品となっております。当行では、かねてより地震・津波等によるお客さまの減災対策支援やBCP(事業継続計画)策定支援を行っており、本商品もそのような取り組みの一つとして展開しています。

※ビジネスレジリエンス…企業や組織において、内的、外的に発生する様々な脅威に、柔軟に対応することでビジネスへの重大な影響を回避する力。



第3弾 企業イメージCMの 放映

10月から、企業イメージCMの第3弾を放映しております。新たなイメージキャラクターとしてフリーアナウンサーの川田裕美さんを起用、ブランドステートメントで宣言した企業姿勢「そこまでやるか。」を使用したダイナミックな展開のCMとなっています。川田裕美さんは大阪府出身、和歌山大学卒業で当行営業エリアとも縁が深く、このたびのキャラクター起用となりました。これまでに引き続き、「コブクロ」の楽曲「陽だまりの道」をBGMに採用しています。また10月1日の日本経済新聞にてCMと連動した企業広告も掲載いたしました。



個人のお客さまへ

お客さまのライフステージに応じた商品とサービスをご提供しています。



就職

総合口座

普通預金と定期預金を一冊の通帳にセット。ご預金の出し入れのほか、お給料や年金のお受取り口座、公共料金など各種の自動引落しをご利用いただけます。

積立型定期預金

一定額を無理なくお積立いただける商品をそろえています。指定口座からの自動引落としと随時お預入れの両方が可能な「たくわえ」、3年以内なら自由に積立期間設定が可能で目標金額50万円から自由に設定していただける「ライナー」などがございます。

インターネットバンキング

パソコン、スマートフォン、携帯電話から残高・入出金明細照会、振込・振替、各種料金の払込み、住所変更登録(*)などのお手続きが可能です。また、住宅ローンの一部繰上げ返済(*), 固定金利の選択(*)などが手数料無料でご利用いただけます。
※携帯電話ではご利用いただけません。

各種ローン

◎紀陽銀行ローン(目的プラン)

マイカー資金、教育資金、リフォーム資金のほか、家具・家電購入やブライダル資金などさまざまな目的にご利用いただけます。

◎紀陽銀行カードローン

急な資金のご利用時などにATMで手軽にご出金いただけます。最高800万円までご利用いただけます。パソコン、スマートフォンからのお申込みも可能です。



結婚・出産・子育て

子供通帳

お子さまの写真をプリントしたお子さま名義の普通預金口座(オリジナル通帳)を作成させていただきます。

平成29年3月末まで

※写真のサイズはL版横もしくはハガキサイズ横となります。



各種保険

けがや病気に備える医療・がん保険、万一の場合に遺されたご家族を支える終身保険・定期保険をはじめ、将来の年金準備のための個人年金保険など、お客さまのライフプランにぴったりの保険をご案内します。



紀陽教育カードローン

お子さまの入学金、授業料や下宿代などにもご利用いただけます。在学中はローンカードでお借入・ご返済が自由。最高500万円までご利用いただけます。



国内外20万ヵ所以上の施設が割引に!

紀陽エンジョイ倶楽部Club Off

紀陽銀行でお給料をお受け取りいただいているお客さま限定のサービスです。リゾートホテルやグルメ、ショッピングなどさまざまな施設やサービスを会員特別価格でご利用いただけます。

マイホーム・資産形成

住宅ローン



住宅の新築、増改築、他行や他社の住宅ローンのお借換え資金などにご利用いただけます。疾病保障特約付与タイプや長期固定金利型などさまざまな商品をそろえています。

投資信託・インターネット投信

ゆとりある未来のためにおすすめしたい投資信託。資金の性格や運用目的に合わせた多彩な商品をそろえています。ご自宅でご手軽にお取引が可能なインターネット投資信託は、ご購入時手数料が窓口ご利用の30%OFFです。*

※投資信託自動積立は割引対象外となります。

専門スタッフとじっくりご相談ください

紀陽住宅ローンセンター

住宅ローンについてじっくりご相談いただける窓口を、和歌山県・大阪府・奈良県内の全11店舗(*)に設けています。住宅ローン・住宅金融支援機構に詳しい専門スタッフをそろえ、簡単なお質問から融資までスピーディーに対応。借換えやリフォームなどについてもお気軽にご相談ください。

※平成28年9月30日現在



くらしとお金のことなら何でもご相談ください

紀陽お城の前の相談室

和歌山城の北向かい、紀陽和歌山中央ビルにある「紀陽お城の前の相談室」。今必要な資金のこと、老後など先々の資金計画など、お金に関するさまざまな疑問や悩みにお応えしています。土曜・日曜も営業。税理士・社会保険労務士等による無料相談会も実施しています。



退職・老後



年金定期

当行で公的年金をお受取りのお客さまにご利用いただける定期預金。スーパー定期の店頭表示利率に金利が上乗せされるお得な商品です。

<キヨー>ふれあい倶楽部

当行で年金をお受取りのお客さまにお得なサービスをご利用いただけるサークルです。ショッピングやサービス施設の割引ご優待、カルチャー教室へのご招待や、当倶楽部が厳選した各地の逸品を抽選でプレゼントしております。



教育資金贈与専用口座・ゆめみらい



お孫さまなどへの教育資金贈与の際に、1,500万円まで非課税となる預金口座です。贈与の対象期間が平成31年3月末まで延長されました。

LINE@配信中!

紀陽銀行からのさまざまなキャンペーン情報や楽しい地域情報などをみなさんにお届けします! ぜひ、お友だち登録してくださいね!



法人のお客さまへ

お客さまそれぞれの事業ステージに合わせたサービスをご提供しています。

創業期

【起業・新事業をサポート】

創業支援セミナーinわかやま

実行委員会の一員として、和歌山県内で創業予定や創業後間もないお客さまに向けて支援セミナー等を開催。創業の実例や成功のポイントについての講演のほかお客さまの情報交換の場として交流会を行っています。



創業者支援総合スキーム

地域で創業をお考えのお客さまを対象に、日本政策金融公庫、信用保証協会等との連携により、事業計画の策定から低金利のご融資のご提案、また、事業開始後のさまざまな課題解決のお手伝いまで積極的に支援しています。

各ステージでの お客さまのサポートのために…

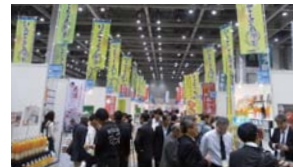
事業性評価への取り組み

地域金融機関として期待されるコンサルティング機能を高めるため、お客さまの事業の内容や成長可能性、持続可能性を適切に評価する「事業性評価」を踏まえた取り組みを推進しています。また、株式会社地域経済活性化支援機構（REVIC）の特定専門家派遣制度を活用するなど、事業性評価のノウハウ向上を図っています。

【販路開拓をサポート】

各種商談会によるビジネスマッチング

食に関する大規模商談会「地方銀行フードセレクション」や、ものづくり企業の販路拡大、コスト削減などをテーマとしたセミナー等を毎年開催し、お客さまへビジネスマッチングの機会をご提供しています。



サイトによるビジネスマッチング

日本最大級のBtoB技術データベースサイトを運営する株式会社イプロスと提携し、インターネットを通じたビジネスマッチングの支援を展開しています。登録企業の技術・製品等に関する情報を、設計や生産、研究開発に携わる全国の現場エンジニアに発信可能です。月間商談発生件数は約8万件の実績を誇り、お客さまの販路開拓の強い味方となります。

クラウドファンディング

「クラウドファンディング」はインターネット上で個人投資家からの事業資金を募る仕組みです。地域の特色ある資源や地場産品を取り扱う事業者さまにご紹介し、販路拡大やファン作りのお手伝いをしています。

【海外への進出をサポート】

グローバルサポートデスク

海外進出に関するサポート窓口として、コンサルティング会社など外部専門家と提携して商談会や個別相談会を開催。海外現地の市場情報のご提供、海外販売ルートやパートナー企業のご紹介などを行っています。また、海外の有力金融機関との提携により、現地での資金サポート体制も確立しています。

海外向けファイナンス

国際協力銀行（JBIC）との提携によって、お客さまの現地法人などに国内から直接ご融資する「クロスボーダーローン」などのサービスをご提供しています。



成長・

発展期



【新たな事業展開に向けて】

紀陽イノベーションサポートプログラム

新たな事業展開を目指して、大学や研究機関と共同開発を行っている事業者の皆さまから研究開発テーマを募集し、優れたテーマに対して事業化までの課題解決など長期にわたりサポートします。

【お客さまのニーズに応じて】

IPO支援

IPO(株式公開)を目指す事業者の皆さまに向けて「IPO勉強会」へのご案内や、株式公開支援のコンサルティング会社のご紹介などを行っています。

人材確保の支援

毎年、和歌山大学、近畿大学、桃山学院大学、和歌山工業高等専門学校などと提携し、お取引先企業の会社説明会を開催。企業と学生の出会いの場をご提供しています。

大規模災害対策に向けた支援

「南海トラフ巨大地震」などによる被害予想地域を営業エリアとする当行では、災害・事故時などの事業の継続・早期再開に備えた事業継続計画(BCP)のサポートに力を入れ、事業者の皆さま向けに「大規模地震対応模擬訓練」などを開催しています。災害時の緊急対応能力や危機管理能力の重要性を実感していただくとともに、危機的な状況下における事業継続計画(BCP)についての事例紹介なども行っています。

経営改善・事業承継期



【経営改善・事業承継をサポート】

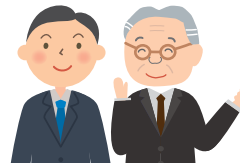
経営サポート室

株式会社地域経済活性化支援機構(REVIC)、中小企業再生支援協議会、認定支援機関などの外部支援機関と連携し、営業店と一体となってお客さまの経営改善計画の策定や経営改善、抜本的な事業再生などの支援に取り組んでいます。



事業承継セミナー

後継者への円滑な事業承継や資産相続に関する法律・税金の問題など、事業者の皆さまの課題解決をサポートするセミナーを実施しています。



M&A支援

事業者さまのM&A(企業合併・買収)についても、M&Aアドバイザー業務や仲介業者のご紹介などにより総合的なサポートに努めています。

成長分野をバックアップ!

医療関連事業者向けセミナーを開催

医療機関が取り組むべき経営課題は、高齢化社会による医療ニーズの変化とともにますます多様になっています。また、医療とさまざまな異業種が結びつくことによる新しいビジネスチャンスも生まれています。こういった変化を見すえた新たな展開をお考えの医療関連事業者のお客さま向けのセミナーを開催しています。



地方創生に向けた取り組み

「地方創生推進プロジェクトチーム」を組成し、地方自治体や教育機関、民間企業の皆さまと連携しながら、地方創生のためのさまざまな施策を展開しています。

一般社団法人ノオトとの連携による 歴史的建築物を活用した地域活性化支援

今年8月31日に、古民家再生、空き家活用のノウハウを持つ一般社団法人ノオトと「歴史的建築物活用にかかる包括連携協力に関する協定」を締結し、当行営業地域内の歴史的建築物の活用支援を開始しました。現在、豊かな潜在価値を持つ歴史的建築物の多くが放置された状態や単に保護されているだけといった状態にあります。これらを宿泊施設や飲食施設などとして活用することで、雇用創出、観光振興等による新たな人の流れが生まれます。

当行は建築物の活用事業者さまへの資金支援等を

行います。なお、地域全体を対象に歴史的建築物活用の面的支援を行う取り組みは、全国の金融機関で初となります。

この取り組みの一環として、一般社団法人ノオトとの共同主催で10月18日に「わかやま古民家活用セミナー」を開催し、和歌山県内の古民家活用事業に関心をお持ちの皆さまに多数ご参加をいただきました。



わかやま古民家活用セミナー

「平成28年度 紀陽イノベーションサポートプログラム」の募集

「紀陽イノベーションサポートプログラム」は、新たな事業展開を目指して大学や研究機関と共同開発を行っている事業者の皆さまから「研究開発テーマ」を募集し、優れたテーマに対して、事業計画の策定支援や事業化までの課題解決など長期にわたるサポートを行う取り組みです。平成27年度より開始したこの事業により、新サービスやものづくり新事業の創出を目指し、地域経済の

活性化や既存産業の付加価値向上を支援してまいります。昨年度は25の事業者さまからご応募があり、和歌山県5社、大阪府4社を採択いたしました。本年度も9月1日より募集を開始し、多数の事業者さまからご応募、お問い合わせをいただいております。



和歌山県・和歌山市との「クラウドファンディング活用支援事業」にかかる連携協力

当行では平成27年6月より、事業者の皆さまの販路拡大支援策のひとつとして、インターネット上で個人投資家からの事業資金調達などを行う「クラウドファンディング」の紹介業務を取扱っております。その一環として、今年6月

から、「和歌山県クラウドファンディング活用支援事業」及び「和歌山市クラウドファンディング活用支援事業」の連携金融機関として協力を開始いたしました。和歌山県・和歌山市の両事業において、新たな事業展開を目指す事業者の皆さまへのさまざまな情報やノウハウのご提供、事業の継続的なサポートなどを行ってまいります。今後もお客さまのニーズと社会や時代の流れに合わせたサービスを展開し、地域経済の活性化に貢献してまいります。

お客さまのためのバリアフリー環境や従業員のワークスタイルなど、誰もが安心して暮らし、働ける社会に向けた取り組みを行っています。

バリアフリーへの取り組み

当行ではすべてのお客さまに安心してご利用いただける銀行を目指して、バリアフリーに取り組んでおります。目の不自由なお客さまに向けて、お取引明細や残高の点字通知サービスを実施するほか、すべてのATMに音声案内装置付きの受話器型附属機器を設置しております。また、コミュニケーションボードと耳マーク表示板を全店に設置し、耳が不自由な方にも安心してご利用いただける環境を実現しています。

さらに、行員が認知症への理解を深めることによって、認知症の方やそのご家族が安心して暮らせる社会を支えていきたいと考え「認知症サポーター」の養成に努めております。



ダイバーシティの推進

ダイバーシティ(diversity)とは、性別など従業員それぞれの違いを尊重し、積極的に活かしていくことで企業価値を高める取り組みをいいます。

今年4月1日、女性の個性と能力が十分に発揮できる社会の実現に向けて「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律(女性活躍推進法)」が施行され、紀陽銀行では女性活躍推進のための行動計画を策定しました。計画では平成30年3月までに女性役員者を100名以上とすることを掲げています。当行では、かねてより女性の積極的登用をはじめとする「ポジティブ・アクション」を推進し、仕事と育児の両立支援や、仕事と家庭生活の調和がとれたワーク・ライフ・バランスの推奨などを行ってきましたが、今後さらにその取り組みを加速してまいります。



育休取得前研修

新しいコンセプトの店舗展開

今年6月、大阪府南部におけるリテール営業の基幹拠点として、泉北高速鉄道「泉ヶ丘駅」前の複合商業施設「泉ヶ丘ひろば専門店街」内に2フロアの店舗スペースを確保してオープンした泉ヶ丘駅前支店。2階部分は通常の銀行店舗とセミナー室を併設しており、資産運用などの相談会やセミナーも定期的に開催しています。また1階部分は「紀陽ステーションプラザ」と名付けた、従来の銀行の店舗イメージとは大きく異なる多目的スペースとなっています。ロビーは今までにない斬新なレイアウトで、豊富な情報雑誌等を取り揃えた本棚や大型テレビのほか、キッズコーナーや授乳室なども設けています。営業時間も平日は9:00～17:00までと通常の営業時間よりも延長し、日曜日も営業しております。大阪府内における40カ店目の店舗として、当行が目指す「銀行をこえる銀行へ」を具体化した、お客さまとの新しい交流を生むステージです。



紀陽フィナンシャルグループでは、数々の社会貢献活動に取り組んでおります。



環境保全への取り組み

美しい自然を未来へのこす

和歌山県「企業の森」事業

紀陽銀行では、和歌山県が森林の環境保全を目的に実施している「企業の森」事業に平成18年より参画しています。毎年、行内でボランティア参加者を募り、和歌山県田辺市の「紀陽の森」において森林の保全活動を行ってきましたが、平成28年からは、和歌山県田辺市の「紀陽の森」においても新たに取り組みを開始いたしました。



自然遺産を次の世代へ伝える

熊野古道の参詣道環境保全活動

和歌山県が誇る「世界遺産」である熊野古道は、台風や雨による被害にたびたび見舞われています。当行では、熊野古道の参詣道の傷みを修復し、その価値を守り次代へ伝えていくために、役職員参加によるボランティア活動に取り組み、道普請(土の補充)を中心とした活動を継続しています。



地域イベントへの取り組み

和歌山の夏の祭典に参加

紀州おどり

紀州の豪商・紀伊国屋文左衛門にちなむ「紀州おどり」。和歌山市民に愛される夏の風物詩に、当行からも毎年多くの行員が参加しています。今年も、総勢605名がおそろいの法被・浴衣姿で、地域の皆さまとともににぎやかな夏の日を過ごしました。



元気な掛け声で心をひとつに

和歌山県綱引選手権大会

小学生から大人まで、県内各地から数百人が集まって毎年開催されている「和歌山県綱引選手権大会」。当行はこのイベントに協賛し、行員チームも試合に参加。地域の皆さまと心を一つにして大会を盛りあげています。



営業店における取り組み

地域に根ざしたCSR活動

当行では、地域の皆さまの暮らしに根ざしたCSR活動が地方銀行の務めと考えております。各営業店においても、清掃活動をはじめ、地域のイベントへの参加やボランティアでのお手伝いなど、皆さまに貢献できる活動に日々取り組んでいます。





芸術・文化・スポーツを通じた取り組み

地域に芸術の感動を

一般財団法人紀陽文化財団

平成7年に設立された一般財団法人紀陽文化財団は、優れた芸術と文化の普及による豊かな地域社会の創造を目指しています。年2回開催している「紀陽コンサート」は、毎回ご好評をいただいております。平成28年9月10日には、ピアノに三浦友理枝さんをお迎えし、日本センチュリー交響楽団の首席指揮者である飯森範親さんと同楽団の皆さんによる演奏会を行いました。

また、和歌山県立近代美術館・博物館との提携により、特別展などへの無料ご招待も実施しています。



子供たちにスポーツの楽しさを

バスケットボールクリニック(ジュニアへの指導)

紀陽銀行の女子バスケットボール部「紀陽ハートビーツ」は、「スポーツを通じた地域社会の皆さまへの貢献」を目指しています。日々のトレーニングに加えて、地元の小中学生を対象としたバスケットボールクリニック(ジュニアへの指導)を展開し、地元のスポーツ振興に取り組んでいます。これからも、地元にも愛されるチームとして活動してまいります。



地域の金融教育への取り組み

学生に現場の体験と知見を

和歌山大学、和歌山高専での講義

和歌山県が実施している「産業人材育成支援事業」の一環として、和歌山大学で当行役員が「和歌山企業トップ経営論」の講義を行っています。また、和歌山工業高等専門学校においても行員が講師を務め、「企業実践講座」を展開。現場の体験・知見を活かした金融教育のサポートを行っています。



高校生にお金の基本を

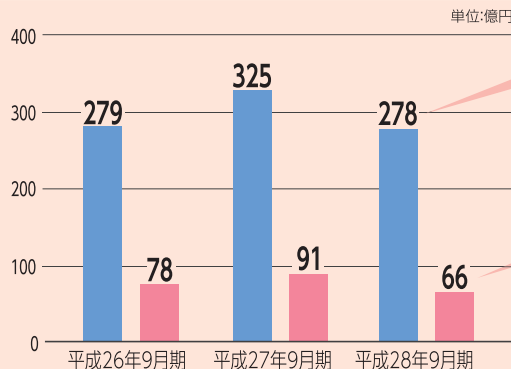
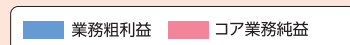
金銭基礎教育授業「MoneyConnection®」

高校生を対象とした金融教育の一環として、金銭基礎教育プログラム「MoneyConnection®」に協賛しております。「MoneyConnection®」の公認実施団体である特定非営利活動法人キャリア・ファシリテーター協会と連携し、地域の高校で認定講師による出張授業を展開。「働くこと・お金・人生設計」について学ぶ機会を提供しています。



業績ハイライト

業務粗利益は、役務取引等利益が増加したものの、資金利益や債券関係損益の減少等により、前年同期比47億円減少の278億円となりました。また、コア業務純益は前年同期比25億円減少の66億円となりました。



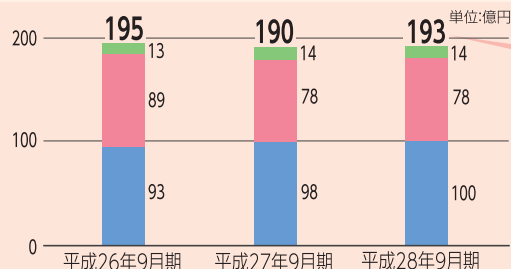
業務粗利益 (単体)

278億円

コア業務純益 (単体)

66億円

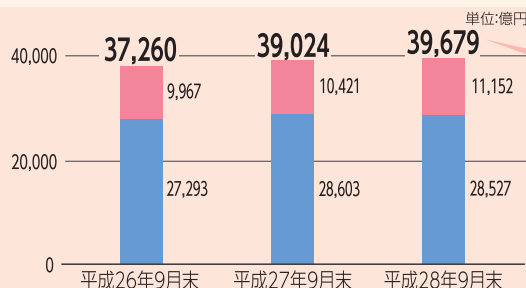
経費については、人員増加等による人件費の増加などにより、経費全体で前年同期比3億円増加の193億円となりました。



経費 (単体)

193億円

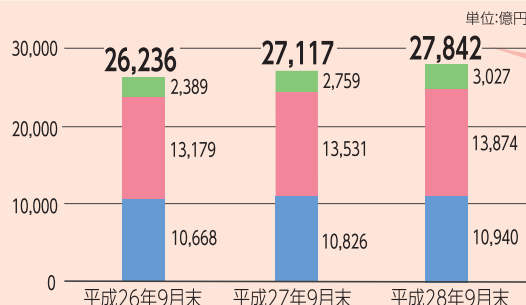
預金等残高は、個人預金が減少したものの、法人預金を中心に増加し、前年同期末比655億円増加の3兆9,679億円となりました。



預金等残高 (単体)

3兆9,679億円

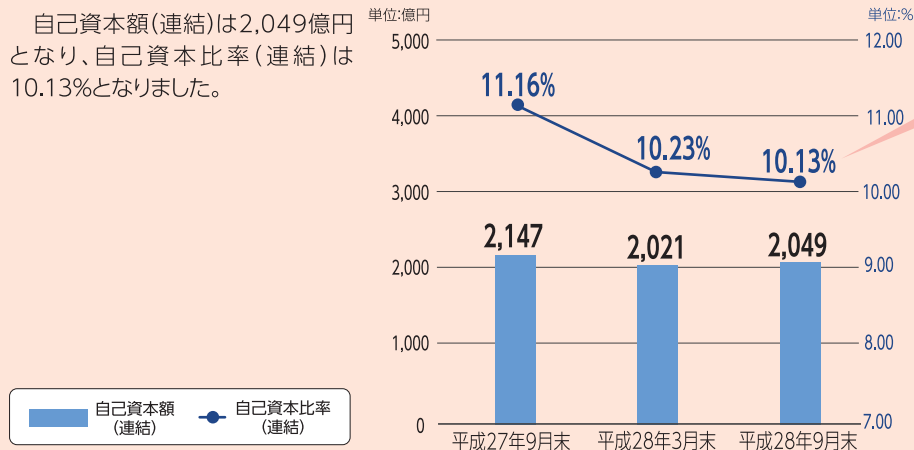
貸出金残高は、前年同期末比725億円増加の2兆7,842億円となりました。



貸出金残高 (単体)

2兆7,842億円

自己資本額(連結)は2,049億円となり、自己資本比率(連結)は10.13%となりました。



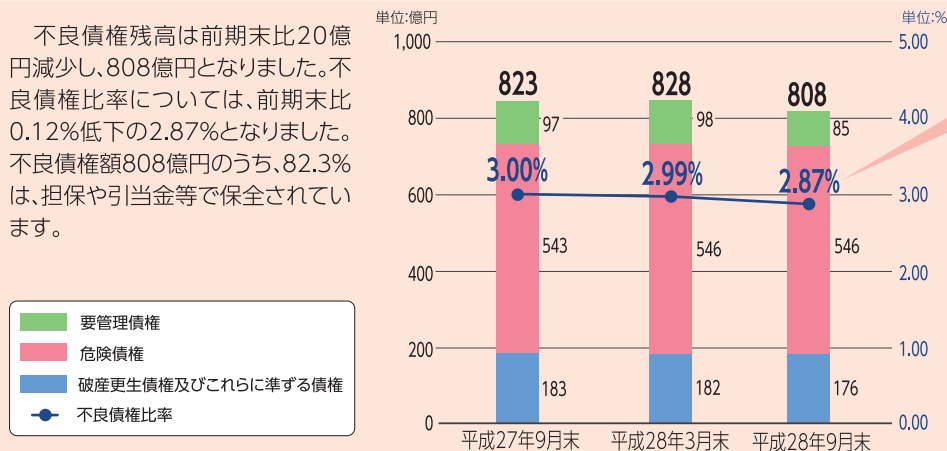
自己資本比率(連結)

10.13%

自己資本比率(単体)

9.76%

不良債権残高は前期末比20億円減少し、808億円となりました。不良債権比率については、前期末比0.12%低下の2.87%となりました。不良債権額808億円のうち、82.3%は、担保や引当金等で保全されています。



不良債権比率(単体)

2.87%

用語解説

■要管理債権

3ヵ月以上延滞債権及び貸出条件緩和債権

■危険債権

債務者は経営破綻の状態に至っていないが、財務状態及び経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収及び利息の受取ができない可能性の高い債権

■破産更生債権及びこれらに準ずる債権

破産、会社更生、再生手続等の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権

■外部格付

外部格付とは、第三者の格付機関が、銀行や企業の「安全度」をランク付したものです。

紀陽銀行では、株式会社日本格付研究所(JCR)と株式会社格付投資情報センター(R&I)から格付上位のAランクを取得しています。

外部格付

A^(JCR) A⁻(R&I)

紀陽銀行(連結)

第207期中 中間連結貸借対照表

(平成28年9月30日現在)

単位:百万円

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
現金預け金	504,830	預金	3,857,821
買入金銭債権	799	譲渡性預金	93,300
商品有価証券	138	債券貸借取引受入担保金	76,742
有価証券	1,157,850	借入金	199,544
貸出金	2,776,533	外国為替	25
外国為替	2,303	社債	10,000
その他資産	26,648	その他負債	41,932
有形固定資産	36,571	退職給付に係る負債	19
無形固定資産	5,283	役員退職慰労引当金	32
退職給付に係る資産	13,290	睡眠預金払戻損失引当金	1,012
繰延税金資産	850	偶発損失引当金	536
支払承諾見返	9,554	繰延税金負債	6,737
貸倒引当金	△ 25,071	支払承諾	9,554
		負債の部合計	4,297,259
		(純資産の部)	
		資本金	80,096
		資本剰余金	6,941
		利益剰余金	97,017
		自己株式	△ 5,661
		株主資本合計	178,394
		その他有価証券評価差額金	25,187
		退職給付に係る調整累計額	5,542
		その他の包括利益累計額合計	30,729
		新株予約権	34
		非支配株主持分	3,166
		純資産の部合計	212,324
資産の部合計	4,509,584	負債及び純資産の部合計	4,509,584

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

- 連結子会社
- ・ 紀陽ビジネスサービス株式会社
 - ・ 株式会社紀陽カード
 - ・ 阪和信用保証株式会社
 - ・ 株式会社紀陽カードディーシー
 - ・ 紀陽リース・キャピタル株式会社
 - ・ 紀陽情報システム株式会社

第207期中 中間連結損益計算書

(平成28年4月1日から平成28年9月30日まで)

単位:百万円

科 目	金 額
経常収益	38,732
資金運用収益	25,051
(うち貸出金利息)	(17,339)
(うち有価証券利息配当金)	(7,472)
役務取引等収益	6,463
その他業務収益	4,998
その他経常収益	2,218
経常費用	28,102
資金調達費用	1,816
(うち預金利息)	(1,356)
役務取引等費用	2,092
その他業務費用	2,811
営業経費	20,067
その他経常費用	1,315
経常利益	10,629
特別利益	0
特別損失	73
税金等調整前中間純利益	10,556
法人税、住民税及び事業税	2,452
法人税等調整額	865
法人税等合計	3,318
中間純利益	7,237
非支配株主に帰属する中間純損失	6
親会社株主に帰属する中間純利益	7,243

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

役員一覧

(平成28年9月30日現在)

取締役会長(代表取締役)	片 山 博 臣
取締役頭取(代表取締役)	松 岡 靖 之
兼頭取執行役員	
取締役常務執行役員	島 慶 司
取締役常務執行役員	爲 岡 英 喜
取締役常務執行役員	今 村 裕 一
取締役常務執行役員	竹 中 義 人

紀陽銀行(単体)

第207期中 中間貸借対照表

(平成28年9月30日現在)

単位:百万円

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
現金預け金	504,804	預金	3,864,689
買入金銭債権	799	譲渡性預金	103,300
商品有価証券	138	債券貸借取引受入担保金	76,742
有価証券	1,160,271	借入金	199,544
貸出金	2,784,239	外国為替	25
外国為替	2,303	社債	10,000
その他資産	13,028	その他負債	32,074
有形固定資産	36,895	役員退職慰労引当金	32
無形固定資産	4,936	睡眠預金払戻損失引当金	1,012
前払年金費用	5,323	偶発損失引当金	536
支払承諾見返	9,554	繰延税金負債	4,204
貸倒引当金	△ 21,530	再評価に係る繰延税金負債	118
		支払承諾	9,554
		負債の部合計	4,301,835
		(純資産の部)	
		資本金	80,096
		資本剰余金	5,284
		資本準備金	259
		その他資本剰余金	5,025
		利益剰余金	93,888
		利益準備金	5,096
		その他利益剰余金	88,792
		繰越利益剰余金	88,792
		自己株式	△ 5,661
		株主資本合計	173,609
		その他有価証券評価差額金	25,015
		土地再評価差額金	270
		評価・換算差額等合計	25,285
		新株予約権	34
		純資産の部合計	198,928
資産の部合計	4,500,764	負債及び純資産の部合計	4,500,764

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

第207期中 中間損益計算書

(平成28年4月1日から平成28年9月30日まで)

単位:百万円

科 目	金 額
経常収益	35,123
資金運用収益	25,040
(うち貸出金利息)	(17,329)
(うち有価証券利息配当金)	(7,470)
役務取引等収益	5,276
その他業務収益	2,843
その他経常収益	1,963
経常費用	25,002
資金調達費用	1,816
(うち預金利息)	(1,356)
役務取引等費用	2,394
その他業務費用	1,140
営業経費	19,008
その他経常費用	643
経常利益	10,121
特別損失	72
税引前中間純利益	10,048
法人税、住民税及び事業税	2,257
法人税等調整額	718
法人税等合計	2,976
中間純利益	7,072

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

取締役執行役員 日 野 和 彦
 取締役執行役員 明 樂 泰 彦
 取締役執行役員 吉 村 宗 一
 取締役(社外取締役) 水 野 八 朗
 取締役(社外取締役) 山 中 俊 廣

常勤監査役 樋 口 勝 二
 常勤監査役 葉 糸 正 浩
 非常勤監査役(社外監査役) 松 川 雅 典
 非常勤監査役(社外監査役) 大 平 勝 之
 非常勤監査役(社外監査役) 山 野 裕

執行役員 安 行 一 浩
 執行役員 原 口 裕 之
 執行役員 崎 山 和 彦
 執行役員 田 村 和 也
 執行役員 山 本 敏 樹
 執行役員 横 山 達 慶

ネットワーク

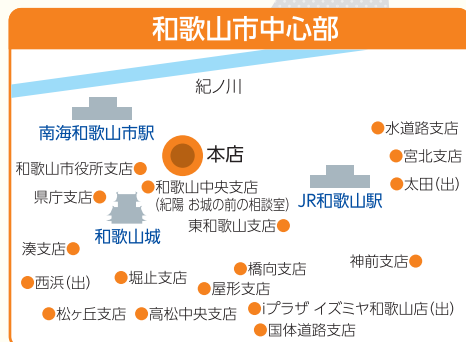
(平成28年9月30日現在)

紀陽銀行は、主要営業エリアである和歌山県、大阪府を中心に111店舗を設置し、両府県にまたがる店舗ネットワークを展開しております。

	店舗数	店舗外ATM
和歌山県	68	115
大阪府	40	46
奈良県	2	1
東京都	1	—
三重県	—	1
合計	111	163

(インターネット支店含む)

※このほか、資産運用に関するコンサルティングデスク「紀陽 お城の前の相談室」、インストアランチ「プラザ イズミヤ和歌山店出張所」、外貨両替専門の「関西国際空港出張所」、住宅ローンセンター(11ヵ所)、ビジネスサポートセンター(本店内)を開設しております。



(出)：出張所

株式会社 紀陽銀行

- ◎ 設立日 明治28年5月2日
- ◎ 所在地 和歌山市本町1丁目35番地
- ◎ 資本金 800億96百万円
- ◎ 店舗数 111店
(和歌山県68ヵ店、大阪府40ヵ店)
(奈良県2ヵ店、東京都1ヵ店)
- ◎ 従業員数 2,459名(出向者を除く)
- ◎ 上場証券取引所 東証第一部



(株式会社紀陽銀行・平成28年9月30日現在)

◎発行済株式総数

普通株式 73,399,948株

◎株主総数

普通株式 18,714名

◎配当方針

地域金融機関としての公共性に鑑み、長期的に安定した経営基盤の確保や財務体質強化を目的とする適切な内部留保蓄積と、株主還元強化の両立を目指すことおよび収益力・資本効率等を示す指標を経営目標として掲げ、株式価値向上に努めることを基本方針としております。

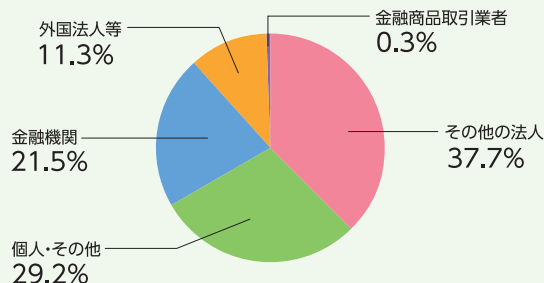
◎株主名簿管理人

東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
三菱UFJ信託銀行株式会社

◎株式事務取扱場所

大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
三菱UFJ信託銀行株式会社大阪証券代行部
電話 0120-094-777(通話無料)

◎所有者別株式分布 (平成28年9月30日現在)



◎大株主の状況

氏名又は名称	持株数等(千株)	持株比率(%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	2,239	3.19
紀陽フィナンシャルグループ従業員持株会	1,889	2.70
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,482	2.11
CBNY-GOVERNMENT OF NORWAY	1,386	1.98
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	1,378	1.96
株式会社島精機製作所	1,059	1.51
株式会社湊組	945	1.35
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口4)	905	1.29
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口1)	807	1.15
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口5)	799	1.14

- (注) 1. 持株数等は、千株未満を切り捨てて表示しています。
2. 当行は、自己株式3,414,018株を保有しておりますが、上記大株主から除いております。
また、持株比率は自己株式を控除して算出し、小数点第3位以下を切り捨てて表示しております。

株式に関する各種手続き

届出住所・姓名などの変更、配当金の振込先の指定または変更につきましては、口座開設されている証券会社(証券会社に口座開設されていない株主さまは、上記の三菱UFJ信託銀行株式会社大阪証券代行部)へ届け出ください。

単元未満株式をお持ちの皆さまへ

1単元(100株)未満の株式を保有されている株主さまは、保有株式の買い取り請求または単元株への買い増し請求をしていただくことができます。詳細につきましては、上記〈株式事務取扱場所〉までお問い合わせください。
(追記) なお、お手続きに必要な書類等については、下記のホームページにお入りいただき、検索することができます。

[三菱UFJ信託銀行HP <http://www.tr.mufg.jp/daikou/>]

本資料には、将来の業績に関する記述が含まれています。こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。将来の業績は、経営環境の変化などにより、見通しと異なる可能性があることにご留意ください。



株式会社 紀陽銀行

平成28年12月発行

経営企画部 広報・CSR推進室

〒640-8656 和歌山市本町1丁目35番地

TEL.073-426-7133

<http://www.kiyobank.co.jp/>